

追肥による生育回復効果(焼酎用さつまいも)

1 はじめに

平成24年は相次ぐ台風によって多くの作物に被害がありました。さつまいもでは、海に近い畠で、8月3日～9月16日の間に3回潮風害にみまわれました。しかし、さつまいもは枯れることなく、被害の度に1週間程度で再び芽をふき生育を始めました(図2)。今回、追肥による生育回復を実証した結果、增收効果が確認されたので御活用ください。

2 実証内容

図1のようには場全体が落葉する潮風害を受けたは場で、9月22日に肥料を全面散布して実施しました。



図1 被害直後の状況



図2 被害後1週間目の状況

3 実証結果

茎葉の繁茂状況は、図3,4に示すように追肥区の方が勝り、収穫調査では追肥を行わなかった対象区に比べて、追肥区は芋肥大が優れ規格収量で2～3割の增收となり、3回の潮風害を受けながら2～2.8t/10aの収量を確保することができました。



図3 対象区の生育(12/11)

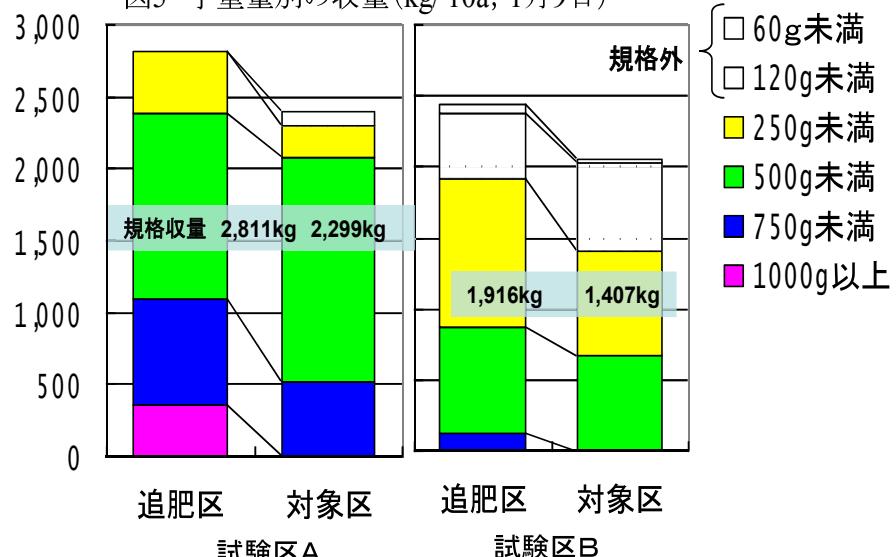


図4 追肥区の生育(12/11)

表1 試験の構成

項目	追肥区:肥料名、施用量(成分施用量)	対象区
試験A	BBNK47, 30kg/10a(4.2-0-2.1)	追肥なし
試験B	からいも配合, 20kg/10a(1.6-2.4-4.8)	追肥なし

図5 芋重量別の収量(kg/10a, 1月9日)



4 まとめ

通常、さつまいもでは”つるぼけ”が心配なので追肥を行うことはありません。しかし、屋久島の焼酎用さつまいもの出荷時期は12～1月と遅いことから、潮風害被害時には追肥によって茎葉の生育を促すことで、収量低下を回復させることができます。施用量の目安としては、過剰施用とならないように、追肥化成を窒素成分で2～4kg/10aが適当と考えられます。

また、追肥は、基肥不足や地力が低くて生育が弱い場合にも同様の効果が期待できるので、生育状況を観察しながら、応用が可能だと考えられます。

(担当:柳川)

鹿児島県茶市場で評価されるお茶づくり！！

1. 適期摘採のため萌芽期をおさえましょう！

萌芽した芽が約7割を占めた時を萌芽期といいます。萌芽期後から摘採までは25日程度と摘採計画をたてる目安になりますので、ぜひ茶園毎に把握しましょう。



図1. 萌芽
<新芽が包葉の2倍>



図2. 萌芽期



写真1 萌芽期の茶園

2. 被覆時期！



写真2 被覆適期

- ・被覆は3葉期頃、下葉の緑色が乗ってきたときに。
- ・萌芽期から18日前後を目安に。
- ・中6日間程度（摘採1週間前に）。
- ・風で葉ずれが発生しないよう、しっかり固定。
(暴風時は、被覆除去もしくは畝間落にとす。)
- ・摘採面の異物をしっかり除去し、被覆。
- ・翌朝摘採する場合、前日夕刻に被覆を除去してかまわ
ない（品質に影響なし）。

3. 適期摘採の時期！



写真3 摘採適期

- ・出開き4割程度の時、一芯4～5葉の時。
- ・萌芽期から25日前後を目安に。
- ・生育速度については、1葉期以降は、1枚当たり5日
前後で計算し摘採予定を。
- ・摘採位置は、新芽を折って、折れる位置で。
(下葉の硬化が目立つ場合、2cm程度上げて摘む)

「やぶきた」は、生育期間の気温が高くなると、萌芽期からの摘採時期が23日程度に早まる可能性あり。「芽数型園」も開葉数が少なく、また硬化が早く、摘採時期が早まるので、摘採遅れに注意。)

4. 良好的な蒸度！



写真4 蒸葉

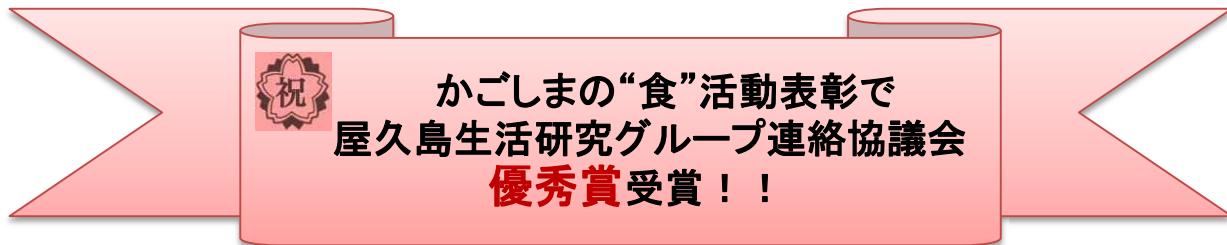
左：鮮緑色（蒸し良好）
右：退色（蒸しすぎ）

注意) 鹿児島県茶市場は、深蒸しを好む傾向があります。しかし、深蒸ししても色沢、水色の緑色が残っていないと逆に買いたたかれます。

5. 最後に！！

水色、色沢が鮮明でうま味のあるお茶は、健全で濃緑色な生葉からしかつくれません。さらに、深蒸しは退色しにくい生葉づくりが必要です。そのために、日頃の整枝、肥料、農薬などの肥培管理を徹底し、萌芽から鮮緑の新芽となるような茶園づくりを目指しましょう。

（担当： 重 ）



平成25年1月28日、鹿児島市のサンロイヤルホテルで「かごしまの“食”活動表彰」がありました。屋久島からは、「屋久島生活研究グループ連絡協議会」が優秀賞を受賞しました。

この表彰は、食育及び地産地消活動に取り組む県内の先進的な団体等を表彰し、その功績をたたえ、その取組を広く県民に情報発信し、地域における食育・地産地消活動の推進を目的に昨年から行っているもので、今年で2回目です。表彰では、草野健・県食育シニアアドバイザーや学識経験者らからなる7人の選考委員会で、食育活動部門、地産地消活動部門の大賞と優秀賞4団体が選出されました。

屋久島生活研究グループ連絡協議会は、地道に継続し、アイデアをだしながら食育や地産地消活動をしていることが評価されての受賞となりました。

今後の活動のますますの発展を期待します。



表彰団体の記念撮影（前列左から2番目が屋久島生活研究グループ連絡協議会 吉元会長）

屋久島生活研究グループ連絡協議会の活動概要

「屋久島で生きる喜びと夢のあるくらしを求めて」を活動理念に、若手女性農業者や小学生の親に対して伝承料理や地域の食文化を伝えたり、また地域農産物を活用した農産加工品の製造・販売、青空市等に取り組むメンバーもあり、島内自給の向上に貢献しています。



青空市の開催



屋久島食の文化祭（郷土菓子の伝承）

(担当：船迫)



お知らせ 「農業かごしま」誌 読んでみませんか？

県農業改良普及研究会が年6回発行しています。

県の農政の取り組みや県内の元気な農業者や产地の紹介、最新の技術・経営情報、県内外、海外の情報など盛りだくさんです。

購読料は、年3,000円です。

購読を希望される方は、農業普及係までお申し込みください。(TEL: 46-2236)

